

**上 郡 町**  
**水 道 ビ ジ ョ ン**  
**中間検証報告書**

**令和3年 12 月**

**上郡町上下水道課**

## 目次

1.中間検証の趣旨	.....	1
2.施策体系	.....	2
3.検証	.....	3
4.まとめ	.....	8

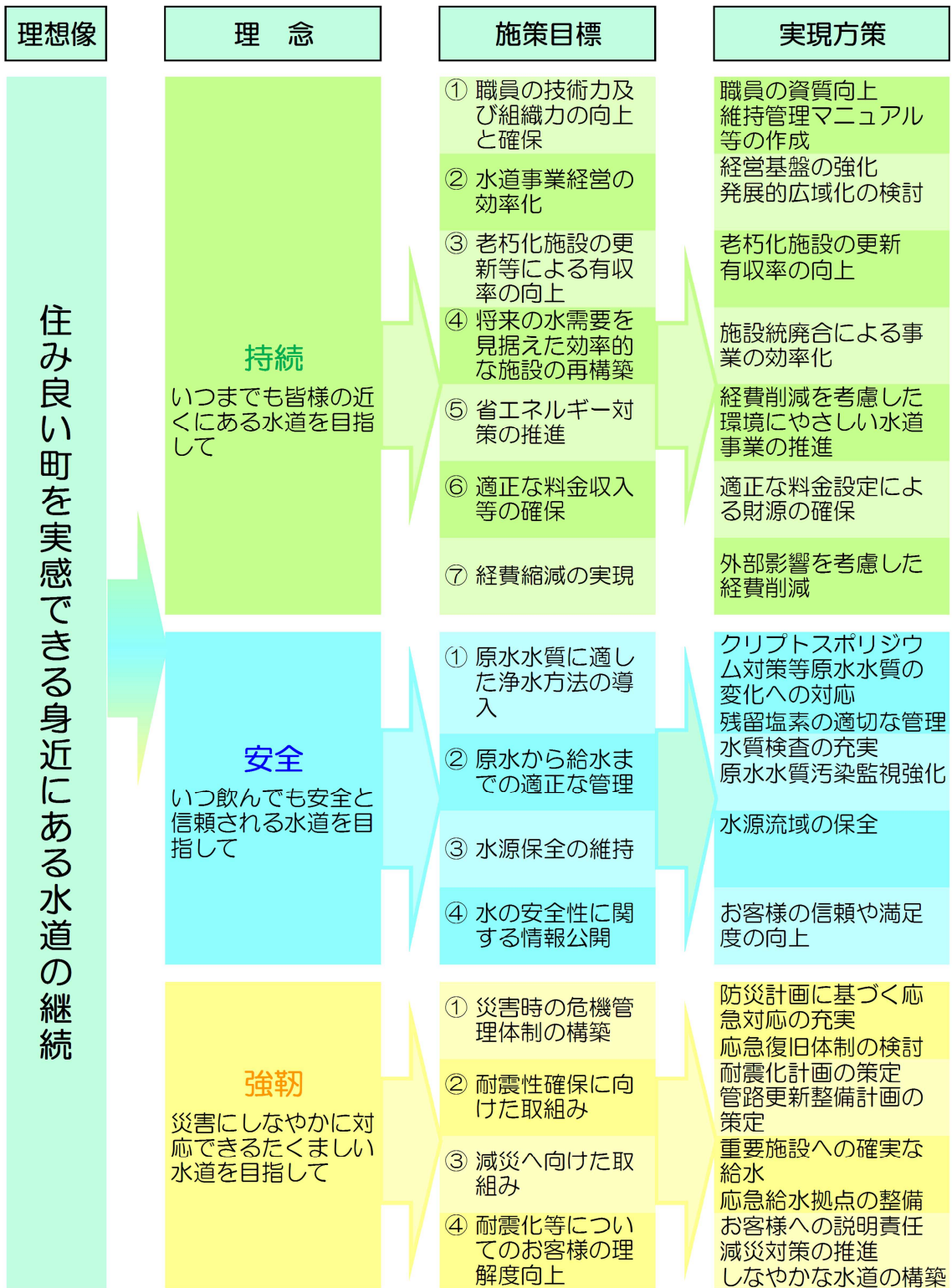
## 1.中間検証の趣旨

本町の水道事業は、これまで安全で良質な水道水を安定的に供給し、常に事業の効率化を図ることで水道料金の値上がりを抑え、適正な価格を維持しつつ水道事業の経営を行ってきましたが、施設の老朽化や水需要の減少などの不安要素に加えて、水道水質基準の強化等への対応から、今後の事業経営は、さらに厳しくなることが予想されます。

今後も、「安全」で「安定」した水道水の供給の「持続」を基本に、お客さまからより信頼される効率的な事業経営に努め、「豊かな自然に恵まれ、元気で人情味あふれる、安全安心な住みよい町」を支えることができる水道事業を目標に、水道ビジョンでは、水道事業の現状と将来の見通しを分析・評価し、その結果を基に水道事業のあるべき姿を、「持続」、「安全」、「強靱」の観点から長期的な目標の策定しています。

本検証は、水道ビジョン策定後、4年が経過したことから、「持続」、「安全」、「強靱」の項目について、目標の実現への取り組みについて検証し、今後実施する施策の方針と実現方策について見直す指標とするものです。

## 2. 施策体系



### 3.検証

検証は、原則として記載されている施策体系の各項目の取り組みの有無で判定する。

判定基準	判定結果
全ての項目について取り組みがある。	◎
半分以上の項目について取り組みがある。	○
1以上の項目について取り組みがある	△
全ての項目について取り組みがない	×

なお、取り組みはあるが効果に課題が残るものは注書きを記載し、減点とする。

持続【実現方策】いつまでも皆様の近くにある水道を目指して

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
① 職員の技術力及び組織力の向上と確保	職員の資質向上 維持管理マニュアル等の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職員の育成</li> <li>・人事制度の見直しによる職員確保</li> <li>・研修参加、資格取得支援</li> <li>・マニュアル等の作成</li> </ul>	△

取組状況

- ・専門職員の育成：人事制度により専門職員の雇用がないため民間委託の継続
- ・人事制度の見直しによる職員確保：令和3年度職員増、人事制度の見直しは未実施
- ・研修参加、資格取得支援：職員の専門研修への派遣実施
- ・マニュアル等の作成：未実施

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
② 水道事業経営の効率化	経営基盤の強化 発展的広域化の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な維持管理や省力化</li> <li>・段階的経営基盤の強化、継続</li> <li>・各業務の共同化の可能性</li> </ul>	△

取組状況

- ・適正な維持管理や省力化：民間委託による維持管理を継続 省力化は取組なし
- ・段階的経営基盤の強化、継続：令和3年4月料金改定実施
- ・各業務の共同化の可能性：広域連携推進会議において協議を実施、継続

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
③ 老朽化施設の更新等による有収率の向上	老朽化施設の更新 有収率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な施設更新の実施</li> <li>・計画的な漏水調査と対応</li> <li>・施設の維持管理性、作業性の向上</li> </ul>	○

取組状況

- ・計画的な施設更新の実施：令和2年度 更新耐震化計画の策定
- ・計画的な漏水調査と対応：計画的に調査実施 令和2年度末有収率 93.6%
- ・施設の維持管理性、作業性の向上：新たな取組なし

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
④ 将来の水需要を見据えた効率的な施設の再構築	施設の統廃合による事業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統一的就効率的な運転や維持管理体制の強化</li> <li>・管理・監視・制御システムの充実</li> </ul>	×

取組状況

- ・統一的就効率的な運転や維持管理体制の強化：新たな取組なし
- ・管理・監視・制御システムの充実：新たな取組なし

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
⑤ 省エネルギー対策の推進	経費削減を考慮した環境にやさしい水道事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転の効率化に電力使用量削減</li> <li>・ 建設工事の環境負荷低減</li> <li>・ 自然エネルギーの導入検討</li> </ul>	×

取組状況

- ・ 運転の効率化に電力使用量削減：新たな取組なし
- ・ 建設工事の環境負荷低減：新たな取組なし
- ・ 自然エネルギーの導入検討：新たな取組なし

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
⑥ 適正な料金収入等の確保	適正な料金収入等による財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内部留保資金の適切な活用</li> <li>・ 長期的事業計画の策定</li> <li>・ 経営健全化に配慮した財政計画</li> <li>・ 段階的かつ適正な料金改定</li> </ul>	◎

取組状況

- ・ 内部留保資金の適切な活用：預金、国債等で運用 運用益 令和2年度 10,659 千円
- ・ 長期的事業計画の策定：平成 30 年度 経営戦略の策定
- ・ 経営健全化に配慮した財政計画：平成 30 年度 経営戦略の策定
- ・ 段階的かつ適正な料金改定：令和 3 年 4 月 料金改定実施

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
⑦ 経費縮減の実現	外部影響を考慮した経費削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設更新事業費の平準化</li> <li>・ 予防保全の実施</li> <li>・ 外部委託の見直し</li> </ul>	△

取組状況

- ・ 施設更新事業費の平準化：令和 2 年度 アセットマネジメント改定
- ・ 予防保全の実施：新たな取組なし
- ・ 外部委託の見直し：新たな取組なし

安全【実現方策】いつ飲んでも安全と信頼される水道を目指して

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
① 原水水質に適した浄水方法の導入	クリプトスポリジウム対策等、原水水質の変化への対応 残留塩素の適切な管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリプトスポリジウム対策等への浄水方法の検討</li> <li>・水質変化に柔軟な対応が可能な処理方式の検討</li> <li>・塩素剤の注入量管理</li> </ul>	◎

取組状況

- ・クリプトスポリジウム対策等への浄水方法の検討：与井水源において検討実施
- ・水質変化に柔軟な対応が可能な処理方式の検討：与井水源において検討実施
- ・塩素剤の注入量管理：管末の水質検査に基づき適正な管理を実施

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
② 原水から給水までの適正な管理	水質検査の充実 原水水質汚染監視強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質検査計画に沿った水質検査</li> <li>・水質検査の強化</li> <li>・原水水質汚染監視の強化</li> </ul>	△

取組状況

- ・水質検査計画に沿った水質検査：計画に基づき実施
- ・水質検査の強化：新たな取組なし
- ・原水水質汚染監視の強化：新たな取組なし

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
③ 水源保全の維持	水源流域の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源保安設備の強化</li> <li>・水源周辺の監視と保全への協力要請</li> </ul>	×

取組状況

- ・水源保安設備の強化：新たな取組なし
- ・水源周辺の監視と保全への協力要請：新たな取組なし

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
④ 水の安全性に関する情報公開	お客様の信頼や満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水安全計画の策定</li> <li>・水質検査計画と検査結果の公表</li> </ul>	△

取組状況

- ・水安全計画の策定：令和2年度 水安全計画素案作成  
与井高度浄水施設整備後修正し、策定予定
- ・水質検査計画と検査結果の公表：町広報誌、ホームページに公表



強靱【実現方策】 災害にしなやかに対応できるたくましい水道を目指して

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
① 災害時の危機管理体制の構築	防災計画に基づく応急対応の充実 応急復旧体制の検討	・災害発生時の対応訓練の実施とマニュアル等の充実 ・緊急応援体制の構築と充実	×

取組状況

- ・災害発生時の対応訓練の実施とマニュアル等の充実：新たな取組なし
- ・緊急応援体制の構築と充実：新たな取組なし

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
② 耐震性確保に向けた取組み	耐震化計画の策定 管路更新整備計画の策定	・重要施設等の設定 ・施設整備の優先度の設定 ・基幹・重要管路の被害想定に基づく優先度の設定	◎

取組状況

- ・重要施設等の設定：令和 2 年度 更新耐震化計画策定
- ・施設整備の優先度の設定：令和 2 年度 更新耐震化計画策定
- ・基幹・重要管路の被害想定に基づく優先度の設定：令和 2 年度 更新耐震化計画策定

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
③ 減災へ向けた取組み	重要施設への確実な給水 応急給水拠点の整備	・基幹管路の耐震化 ・水源地及び配水池への非常用給水設備の充実	△

取組状況

- ・基幹管路の耐震化：更新工事に併せ、耐震化を実施
- ・水源地及び配水池への非常用給水設備の充実：新たな取組なし

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
④ 耐震化等についてのお客様の理解度向上	お客様への説明責任 減災対策の推進 しなやかな水道の構築	・災害リスクの共有 ・積極的なお客様への説明	△

取組状況

- ・災害リスクの共有：ホームページにおいて、更新耐震化計画を公表
- ・積極的なお客様への説明：ホームページにおいて、更新耐震化計画を公表

注) 公開しているが、閲覧についてはお客様の自主性に依存しており、理解度の向上には課題が残る

## 4.まとめ

検証結果を踏まえた施策各項目の見直し等については以下のとおり。

持続【実現方策】いつまでも皆様の近くにある水道を目指して

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
① 職員の技術力及び組織力の向上と確保	職員の資質向上 維持管理マニュアル等の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 専門職員の育成</li> <li>• 人事制度の見直しによる職員確保</li> <li>• 研修参加、資格取得支援</li> <li>• マニュアル等の作成</li> </ul>	継続
② 水道事業経営の効率化	経営基盤の強化 発展的広域化の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 適正な維持管理や省力化</li> <li>• 段階的経営基盤の強化、継続</li> <li>• 各業務の共同化の可能性</li> </ul>	継続
③ 老朽化施設の更新等による有収率の向上	老朽化施設の更新 有収率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 計画的な施設更新の実施</li> <li>• 計画的な漏水調査と対応</li> <li>• 施設の維持管理性、作業性の向上</li> </ul>	継続
④ 将来の水需要を見据えた効率的な施設の再構築	施設の統廃合による事業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 統一かつ効率的な運転や維持管理体制の強化</li> <li>• 管理・監視・制御システムの充実</li> </ul>	継続
⑤ 省エネルギー対策の推進	経費削減を考慮した環境にやさしい水道事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運転の効率化に電力使用量削減</li> <li>• 建設工事の環境負荷低減</li> <li>• 自然エネルギーの導入検討</li> </ul>	継続
⑥ 適正な料金収入等の確保	適正な料金収入等による財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 内部留保資金の適切な活用</li> <li>• 長期的事業計画の策定</li> <li>• 経営健全化に配慮した財政計画</li> <li>• 段階的かつ適正な料金改定</li> </ul>	継続
⑦ 経費縮減の実現	外部影響を考慮した経費削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 施設更新事業費の平準化</li> <li>• 予防保全の実施</li> <li>• 外部委託の見直し</li> </ul>	継続

※社会情勢の変化に伴い経営状況等も変化することから、長期的な観点からすべての項目において継続とする。

安全【実現方策】 いつ飲んでも安全と信頼される水道を目指して

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
① 原水水質に適した浄水方法の導入	クリプトスポリジウム対策等、原水水質の変化への対応 残留塩素の適切な管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリプトスポリジウム対策等への浄水方法の検討</li> <li>・水質変化に柔軟な対応が可能な処理方式の検討</li> <li>・塩素剤の注入量管理</li> </ul>	見直し
② 原水から給水までの適正な管理	水質検査の充実 原水水質汚染監視強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質検査計画に沿った水質検査</li> <li>・水質検査の強化</li> <li>・原水水質汚染監視の強化</li> </ul>	継続
③ 水源保全の維持	水源流域の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源保安設備の強化</li> <li>・水源周辺の監視と保全への協力要請</li> </ul>	継続
④ 水の安全性に関する情報公開	お客様の信頼や満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水安全計画の策定</li> <li>・水質検査計画と検査結果の公表</li> </ul>	継続

※①について検討は完了したことから、今後は具体的な取り組みへの見直しとし、他の項目については継続とする。

強靱【実現方策】 災害にしなやかに対応できるたくましい水道を目指して

施策目標	実現方策	具体的な内容	判定
① 災害時の危機管理体制の構築	防災計画に基づく応急対応の充実 応急復旧体制の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時の対応訓練の実施とマニュアル等の充実</li> <li>・緊急応援体制の構築と充実</li> </ul>	継続
② 耐震性確保に向けた取り組み	耐震化計画の策定 管路更新整備計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要施設等の設定</li> <li>・施設整備の優先度の設定</li> <li>・基幹・重要管路の被害想定に基づく優先度の設定</li> </ul>	見直し
③ 減災へ向けた取り組み	重要施設への確実な給水 応急給水拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹管路の耐震化</li> <li>・水源地及び配水池への非常用給水設備の充実</li> </ul>	見直し
④ 耐震化等についてのお客様の理解度向上	お客様への説明責任 減災対策の推進 しなやかな水道の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害リスクの共有</li> <li>・積極的なお客様への説明</li> </ul>	継続

※ ②の項目については、計画を策定し達成したことから今後は具体的な取り組みへの見直し、③の項目についても②と合わせ見直しとする。他の項目については継続とする。